

危険物安全週間



令和2年6月 7日(日)
～6月13日(土)

毎年、6月の第2週は危険物安全週間です。ガソリンスタンドなどでは、危険物を取扱う際の安全性の確立や、皆さんの危険物に対する意識を高めることを目的として危険物安全週間を実施しています。危険物は取扱いを誤ると、大災害に至りますので慎重な取り扱いをお願いします。

令和2年4月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R2累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	17	12	11	2	0	42	144

(令和2年4月30日現在)

上島町消防署 ☎77-4118

税込確保へ愛媛県と連携

相互併任税務職員制度

この制度は平成26年度から始まったもので、貴重な自主財源でもある税金を確保するため、愛媛県今治支局と上島町が、税務職員を相互に派遣することで、連携して滞納整理を実施するものです。

税負担の公平性を確保し、滞納者から確実に徴収するためにも愛媛県と連携を強めて取り組んでいます。

税金の期限内納付のご協力をよろしくお願い致します。



大林 龍之 消防士長

救命救急士誕生！

上島町消防本部に新たに救急救命士が誕生しましたので紹介します。

【今後の抱負】

九州研修所において7カ月間の研修を終え、国家試験に合格することができました。この間は、実技訓練にも力を注ぎ、救急救命士としての基礎を身に付けることができました。

救急活動においては、技術や知識の維持・向上は重要なことですが、それ以上に、傷病者や関係者に寄り添い、安心感を与えることができる救急救命士になれる様に声かけや立ち振る舞いを大切にしたいと考えています。

さらに、先輩救命士と切磋琢磨しながら、スキルアップに努め、町民の皆様から信頼される消防本部作りを目指す所存です。



1 かんきつ類の防除

今月から梅雨に入り、病害虫の防除が大切な時期となります。黒点病は、枯れ枝上に形成された病原菌の胞子が降雨によって飛散し、果実や葉に感染します。そのため、枯れ枝を切除することが大切です。ジマンダイセン水和剤やペンコゼブ水和剤600倍で防除しますが、前回散布から30日後、または積算降水量が200mmに達した時、次回の防除となります。ただし、せとか、はれひめは、黒点病に弱い品種なので散布後25日、または降水量180mmで次回防除を行ってください。

また、例年カイガラムシの発生が多い園では、6月中旬にトランスフォームフロアブル2,000倍を散布します。

表1 中晩柑の摘果

品 種	摘果時期	備 考
せとか	6月下旬～7月上旬	果梗枝の太い上向きの果実を摘果
愛媛果試第28号	6月下旬	1回では見落としがあるので、数回実施
甘 平	6月下旬～7月上旬	裂果を想定して3割程度多めに残す
不知火	6月下旬	粗摘果重点で強めに摘果

2 摘果

1 温州みかん
今年、裏年傾向となっています。着果の少ない樹では荒摘果を見合せ、仕上げ摘果・樹上選果を行います。

2 中晩柑
中晩柑では、商品価値の高い大玉生産を目標に早期の摘果が大切です。着葉数が5～7枚の有葉果を残し、直花や奇形果を摘果します。また、樹冠下部は、果実肥大が劣るのでやや強めに摘果します。中晩柑の摘果時期は表1を参考にしてください。

3 家庭菜園

雨が多くなると病害の発生が予想されます。マルチや敷きワラを行い土壌からの病原菌の跳ね上がりを抑制するとともに、通風や採光を良くするため、整枝や古葉の除去に努めましょう。また、長雨で畑に水が停滞すると根傷みを起こし株が弱るので、排水路を作るなど注意してください。

1 なす

なすは、一番花直下のわき芽は強く伸びる性質があります。一番花近くの2本のわき芽を伸ばし3本主枝にします。分枝より下のわき芽は早めに摘み取ります。

2 すいか

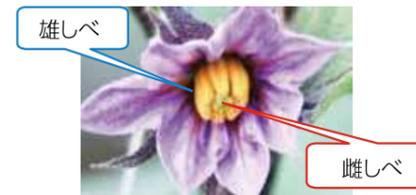
本葉が6枚のころに摘心して、子づるが伸びてきたら生育の揃ったものを4本残し、あとは摘み取ります。子づるから出る孫づるは着花節までは摘み取り、それ以降は放任とします。雌花が咲いたら午前10時頃までに丁寧人工授粉します。

表2 主な果菜類の追肥施用の目安

作物名	追肥開始の目安
きゅうり	1 番果収穫前
な す	1 番果収穫始め
ピーマン	1 番果収穫始め
トマト	1 番果房の果実がピンポン玉時
ミニトマト	3 段花房開花時

●追肥の間隔…10～14日おき
●施肥量(1回当たり)…窒素成分で2～3kg/10a
※トマトは、施肥量が多いと葉のねじれ、茂りすぎ、花房先端から茎がでます。

なすの花



なすの花は、日照時間や温度にもよりますが、雄しべより雌しべの方が長くと栄養状態が良い。